

自己流から校区流へ ～特別活動も小中連携～

教科の系統性の整理や学習指導の工夫等の小中一貫教育の取組は、小・中学校の円滑な接続をめざす小中連携の動きとして今後も一層活発になると考えられます。今回は「特別活動の小中連携」を取り上げています。これは、「校区流」として校区内の小・中学校それぞれの特別活動のよさを知り、連続性を持って各発達段階での活動に共通認識して取り組もうというものです。3学期は年間の教育活動(Plan-Do)を振り返り(Check)、次年度に向けて改善(Action)する大切な時期です。今から、そしてここから取り組める、学級・学校文化を創る「特別活動の小中連携」を提案します。

校区で連携して、子どもや教員の教育活動の交流は毎年行っているけれど...

どんな連携を校区でするの？

中学校の体育祭や文化祭が素晴らしいって聞いたけど...

小学校でも中学校でも誰もが司会ができる力がついてるのかな？

校区の小学校では、どんな学級活動を行っているのだろう？

学校行事などを、生徒主体の異年齢集団で創り上げる工夫を知りたいものだなあ...

小学校でも委員会活動を行っているけれど、中学校の生徒会活動はどんなことしてるんだろう？

小学校で身に付けてきた話し合い活動の仕方を中学校の学級活動で活かし、伸ばしていきたい！

小学校

よさの例

話し合い活動によって、意見の違いを超え、相手の意見を尊重し、折り合いを付けて、集団決定・自己決定する、学級活動の様子

互いのよさを吸収

中学校

よさの例

学校行事で身に付けた協同性や生徒会活動で培った自治的能力などを日常の学級・学校生活に生かす工夫

3学期にできることからすすめましょう

- ★ 小中の子どもも集団を互見し、そこでの子どもたちの事実から、校区でめざす連続性のある特別活動の具体的な取組について協議しましょう。
- ★ 学級活動の指導のプロセスや成果等を共有し、子どもが身に付けた力を生かすことができるような連携した取組について協議しましょう。

より質の高い
集団づくりに
つながります

子どもが
身に付けた力を
続けて伸ばすことが
できます

より実践的な
活動の見通しを
持つことができます